

# まちづくりを巡るメタステレオタイプの情報がステレオタイプに与える影響分析

愛媛大学 学生会員 ○野添愛美 愛媛大学 正会員 白柳洋俊 愛媛大学 正会員 倉内慎也  
愛媛大学 正会員 吉井稔雄 愛媛大学 正会員 坪田隆宏

## 1. 背景と目的

まちの固有性を高めるため、地域の歴史文化的な資源を活用した取り組みが全国各地で展開されつつある。こうした中、時として複雑で多様な歴史文化的な文脈を過度に単純化・固定化を試みる提案がなされ、結果的に歴史文化に培われた生活やその継承が困難な状況に陥ることがある。本稿では、このような自分達のまちを特定の様式に単純化・固定化しようとする信念を「まちづくりのステレオタイプ」と呼称する。

既存研究では、メディア等を通じて他者が自集団に対して抱くステレオタイプに関する情報を認知することがステレオタイプに影響を及ぼす可能性が指摘されている<sup>1)</sup>。同情報は「メタステレオタイプの情報」と呼ばれ、メタステレオタイプの情報が自集団イメージと一致する場合、ステレオタイプが高まること、メタステレオタイプの情報が自集団イメージと一致しない場合であっても、望ましくない情報はステレオタイプを高め、当該情報に対して知識を有する者ほど、その傾向が強まることが指摘されている<sup>2, 3)</sup>。

そこで本研究では、第1にまちづくりにおける自集団イメージ、すなわち自分達のまちのイメージと一致するメタステレオタイプの情報は、まちづくりのステレオタイプを高める、第2に自分達のまちのイメージと一致しないメタステレオタイプの情報は、その情報が望ましくない場合、まちづくりのステレオタイプを高め、その傾向はまちづくりの意識を有する者が強いとの仮説を措定し、同仮説をアンケート調査に基づき検証する。

## 2. 方法

本研究では、愛媛県松山市道後地区を調査対象地とした。アンケートの回答者は、松山市に在住する大学在学学生とし、この内、まちづくりに関する講義を受講する学生100名を知識有り群、受講していない学生100名を知識無し群と定めた。各回答者に対しては、表-1に示すメタステレオタイプの情報の内、1種類を提示し、当該情報に対する妥当性を7段階で回答させた後、その提示前後で、表-2に示すまちづくりのステレオタイプに関する項目に7件法にて回答するよう要請した。

表-1 提示したメタステレオタイプの情報の一部

一致	ポジティブ	道後は、「道後温泉本館」などの入浴施設が立ち並び、外湯文化が根付く温泉街です。まちなかのいたるところに足湯や手湯などが設置され、湯めぐりが楽しめます。浴衣姿の観光客があちこちに見られ、温泉情緒を感じることができます。
	ネガティブ	道後では、外湯文化が残っていますが、入浴後は歩いて旅館に帰る必要があり、雨の日は外湯へ出向くのを躊躇う観光客が見られます。外湯をめぐっている観光客であっても肩を震わせながら足早に宿に戻っている姿をしばしば見かけます。
不一致	ポジティブ	道後には、国の重要文化財である「伊佐爾波神社」など歴史ある神社や寺が多く残されています。日中は、歴史好きの観光客が多く見られ、思い思いに歴史探訪を楽しんでいます。
	ネガティブ	道後の「上人坂」周辺には老朽化した木造家屋が立ち並び、薄汚れた雰囲気漂っています。その周辺には多くの空き地もあり、物寂しい町並みとなっています。日中でも人通りが少なく、閑散としています。

表-2 まちづくりのステレオタイプの質問項目

	あなたは、道後に建つ建物の窓をすべて道後温泉本館と同じ様に「すだれ」をつけるべきだと思いますか？
	あなたは、道後の町並みをすべて昔ながらの旅館と同じ木造の建物とするべきだと思いますか？
まちづくりの	あなたは、温泉街としての風情を演出するために、道後の建物の軒先すべてに足湯や手湯を設置するべきだと思いますか？
ステレオタイプ	あなたは、日本最古の湯との道後の印象を演出するために、道後温泉で開催するアートに関するイベントは道後温泉の伝説に由来する「湯玉」と「白鷺」に関連するものに限定するべきだと思いますか？
$\alpha = 0.89$	あなたは、古来から続く温泉街との道後の印象を高めるために、道後の道はすべて錆・桜御影石による石畳にするべきだと思いますか？

### 3. 結果と考察

メタステレオタイプの情報の妥当性が4以上であった回答者を有効回答とし、まちづくりの知識有り群と知識無し群における、情報提示前後のまちづくりのステレオタイプを表-3に示す。知識有り群、知識無し群共に、一致度次元における一致情報を提示した場合、まちづくりのステレオタイプが有意に高くなる、もしくはその傾向が有意であることが示された。これはメタステレオタイプの情報が自集団イメージと一致していた場合、その情報を受け入れられやすく、まちづくりのステレオタイプが高まったと考えられる。一方で、一致度次元における不一致情報かつ望ましき次元におけるネガティブな情報を提示した場合、知識有り群のみ、まちづくりのステレオタイプが有意に高くなることが示された。これは、知識有り群は、自身がまちづくりの知識を有していると認識しているため、望ましくない情報に対して既に有する自集団イメージに固執して改善を試みるためと考えられる。

表-3 メタステレオタイプの情報提示前後におけるまちづくりのステレオタイプの比較

知識の有無	メタステレオタイプの情報的情報		情報提示前		情報提示後		観測数	差の t 値	
	一致度次元	望ましき次元	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差			
知識有り群	一致	ポジティブ	3.55	1.14	3.81	1.40	25	2.08	*
		ネガティブ	3.37	1.30	3.50	1.47	23	1.46	†
	不一致	ポジティブ	3.14	1.66	3.25	1.73	19	0.96	
		ネガティブ	3.58	0.99	3.93	1.16	24	3.17	**
知識無し群	一致	ポジティブ	3.36	1.21	3.52	1.33	19	1.50	†
		ネガティブ	3.16	1.31	3.50	1.39	25	2.56	**
	不一致	ポジティブ	3.92	1.56	4.09	1.74	17	1.21	
		ネガティブ	3.01	1.46	2.87	1.59	17	-0.89	

\*\* : p<0.01, \* : p<0.05, † : p<0.1

### 4. 結論

本研究では、まちづくりを巡るメタステレオタイプの情報がステレオタイプに与える影響を分析した結果、自分達のまちのイメージと一致するメタステレオタイプの情報が提示された場合、まちづくりのステレオタイプが高まることが示された。一方で、まちづくりの意識を有する者は、自分達のまちのイメージと一致しないメタステレオタイプの情報かつその情報が望ましくない情報が提示された場合、まちづくりのステレオタイプが高まることが示された。このことは、まちづくりの知識を有する者はメタステレオタイプの情報により、ステレオタイプが高まりやすい傾向を有することを意味しており、したがって、例えばまちづくりの専門家は、これらを自覚したうえで、まちづくりに取り組む必要があると考える。

### 5. 参考文献

- 1) 田村美恵：メタステレオタイプの情報が集団間態度と内集団認知に及ぼす影響—メタステレオタイプの情報の望ましき及び自集団ステレオタイプとの一致度に注目して—, 社会心理学研究, Vol.33, No.1, pp.26-33, 2017.
- 2) 田村美恵：外集団メンバーによるステレオタイプの言及がステレオタイプ化に及ぼす影響—外集団メンバーに対する好意度との関連で—, 神戸外大論叢, Vol.61, No.6, pp.61-75, 2010.
- 3) 白柳洋俊・須藤雅陽・羽鳥剛史：地域の歴史に関する知識が街並み保全意識に与える影響分析—歴史まちづくりを巡る街並み保全活動への参画意識と街並み保全のステレオタイプに着目して—, 都市計画論文集, Vol.56, No.3, pp.429-436, 2021.